

GHC病院



病院ダッシュボードX 経営分析レポート

2022 夏号



●経営分析レポート目次

病院成績表月次推移 P.2
症例数 P.4
手術症例数 P.5
期間II超率 P.6
1日単価 P.7
対出来高増収率 P.8
加算・指導料 P.9
【特集】診療報酬改定の対応状況を確認しよう P.10

●分析前提条件

- ▶対象データ
 - ・様式1・入院EF統合ファイルにデータが揃っている症例が対象
 - ・全期間DPC外病棟の場合には、分析対象から除外
 - ・症例数は、退院月カウント（様式1）
 - ・DPCコードは、DPCデータ内の診療行為等から自動コーディング
 - ・データ不備は、対象外
- ▶分析条件
 - ・ベンチマーク
特記がない限り、期間内の全病院との比較結果となります。

●分析期間（2021年04月～2022年03月）自院症例数 ※2022年7月27日時点

21年04月	21年05月	21年06月	21年07月	21年08月	21年09月	21年10月	21年11月	21年12月	22年01月	22年02月	22年03月
1,078	1,003	942	1,051	1,015	1,106	958	971	1,104	990	1,017	1,054

●ベンチマーク病院数 682 病院

病院ダッシュボードχ 経営分析レポート

■病院成績表 月次推移 - 2021年上半期 - ※同病床規模での比較



sample



病院ダッシュボードχ 経営分析レポート

症例数

症例数は、入院収益を決める大きな要因の一つです。在院日数の短縮や入院治療の外来化が進んでいる昨今、病床稼働を維持するためには症例数増加が必須です。季節によって症例数が変動する病院も多く、その要因は主に緊急症例によるものです。診療科別に確認するとさらに顕著になることがあります。1年を通して症例数を安定させるためには、予定入院の安定した確保も肝要となります。

他院と症例数を比較することで、自院の症例数が適正か否かの参考にして下さい。ただし、疾患構成により適正な症例数は異なります。例えば、白内障や大腸ポリープが多い病院と、整形外科系や悪性腫瘍が多い病院では、前者の方が症例数は多くなります。自院がどの分野の症例を増やしたいかを明確にすることが集患の第一歩です。

sample

症例数は、月あたり1,024症例（100床あたり146.3症例）でした。他院と比較すると月あたり100床あたり症例数は少ないです。

「DPC病態マップ」にて、診療科別・疾患別に確認し、変化した要因を把握しましょう。そのうえで「マーケット分析」で他院の強み・弱みを把握し、「地域連携分析」にて集患の戦略・教訓を立てましょう。競合病院が存在するため、対応が遅れた分だけ差が開きます。迅速かつ機動的な対応が肝要です。

病院ダッシュボードχ 経営分析レポート 特集

診療報酬改定の対応状況を確認しよう

2022年も半分が終わりました。4月の診療報酬改定の新設項目などの対応はもうお済みでしょうか。今回の特集では、「診療報酬改定の対応状況を確認しよう」をテーマに、貴院と他院の状況を分析します。ネットでは0.92%のマイナス改定でしたが、それ以上に厳しい病院も、実質プラスとなる病院もあると考えられます。ここからは、次の3STEPで改定対応状況を見ていきます。

●診療報酬改定の対応状況を確認する3STEP●

- ①係数I対象加算の届出状況を確認 ②出来高加算の算定状況を確認 ③その他の指標を確認

STEP①係数I対象加算の届出状況を確認する

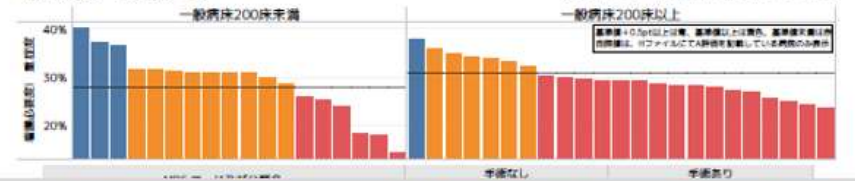
sample

診療強化加算（感病対策向上加算1）	0.0010	79.5%	182,562
診療強化加算（感病対策向上加算2又は3）	0.0010	16.1%	182,562
サーベイランス強化加算（感病対策向上加算2又は3）	0.0002	15.9%	36,912
後発医薬品使用体制加算			
後発医薬品使用体制加算（1後発医薬品使用体制加算1）	0.0014	58.7%	255,586
後発医薬品使用体制加算（2後発医薬品使用体制加算2）	0.0013	29.1%	237,330
後発医薬品使用体制加算（3後発医薬品使用体制加算3）	0.0011	9.3%	200,818

病院ダッシュボードχ 経営分析レポート 特集

看護必要度I ベンチマーク

必要度I基準値：31%（許可病床200床未満の場合28%）



sample

14 新生児疾患、先天性奇形	19.7%	50.1%
15 小児疾患	14.7%	34.5%
16 外傷・創傷・中毒	4.0%	17.6%
17 精神疾患	4.0%	14.5%
18 その他	21.0%	24.5%

STEP③まで確認した後は…

本レポートでは、▼係数I対象加算の届出状況▼出来高加算の算定状況▼救急医療管理加算の算定状況▼一般指標の重症者割合一を確認してきました。改善余地を見つけた場合、夏のうちに対処しましょう。改定対応としては、これらのほか、「新しいDPC制度設計に合わせてバス日数の見直し」なども必須と書えます。病院ダッシュボードχの「バス分析>全疾患」から対策を進めていただけますと幸いです。



病院ダッシュボードX

経営分析レポート

2022 夏号

<https://www.ghc-j.com/dashboard>

分析内容に関するお問合せ

株式会社 グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン

▶〒160-0022 東京都新宿区新宿六丁目 27-30 新宿イーストサイドスクエア 5F

▶E-mail : dashboard@ghc-j.com

▶TEL:03-6380-2401 ▶FAX:03-6380-2402



Leap to the Future



GLOBAL HEALTH
CONSULTING

<https://www.ghc-j.com>